

平成 29 年度 第 10 回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:平成 30 年2月7日(水) 10:00～10:30

◆開催場所:職員会館2階大会議室

◆出席委員:大原副市長、根末副市長、樋口教育長、藤原市長公室長、藤浪企画調整部長、
大西総務部長

◆審議事項

・岸和田城庭園(八陣の庭)保存活用計画について……………郷土文化室
⇒承認

◆審議概要

『岸和田城庭園(八陣の庭)保存活用計画について』

〈説 明 者〉西川郷土文化室長、山岡文化財担当長

〈他出席委員〉濱上生涯学習部長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈総 務 部 長〉石組が隠れてしまう舞台配置等、単なる場所の提供はしないとのことだが、具体的にどうい
う活用ならば使用許可がおりるのか。例えば、過去に実施した薪能は許可されるのか。

〈郷土文化室長〉『八陣の庭』におけるイベント等の活用に関する許可基準について、本計画では、『単なる
場所の提供ではないこと』『庭園の価値を損なわないこと』という大枠の基準を示している。
これに則り、案件ごとに庁内の城関係課や関係機関と協議することとしている。

〈市 長 公 室 長〉計画に盛り込まれた施策の年次計画がないが、スケジュールはどう考えているのか。

〈郷土文化室長〉本計画は大きな方向性を示したものであり、年次ごとの取組計画については、今後別途検
討していく。

〈企 画 調 整 部 長〉以前から、八陣の庭の活用可能な範囲については議論があり、本計画にはどういった場合
に活用できるのか等の基準が盛り込まれるものと考えていたが、本計画策定後も案件ごと
に判断することになるのか。

〈文化財担当長〉活用方法にも様々なものがあると思う。全てのケースを想定して制度設計することは困難
であるため、大枠の条件のみを示すに留めている。

〈企 画 調 整 部 長〉今後、許可基準を考えるとということであればよいが、個別に判断するということであればこ
れまでと同じではないのか。

〈郷土文化室長〉本計画で大枠の基準を示している。本計画の策定が、今後より詳細な基準を整理していく
ための契機になると考えている。

〈根 末 副 市 長〉本内容で政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。

平成 30 年2月2日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田城庭園(八陣の庭)保存活用計画について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 26 年 10 月に国名勝に指定された岸和田城庭園(八陣の庭)が有する価値を明確にし、後世へ継承するための保存と活用の基本的な方向性を示すため保存活用計画を策定した。
説明者	郷土文化室長 西川 文化財担当長 山岡
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成29年度 第10回会議
付議事項	岸和田城庭園(八陣の庭)保存活用計画について

★取組の目的

対象	行政 市民 施設利用者
どのような状態を目指す	名勝の価値を後世へ継承できている。 歴史、文化を後世へ伝え、郷土への愛着をはぐむ。

★総合計画上の位置付け

101030102	基本目標	I－1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)郷土への愛着心が育まれている
	目指す成果	①郷土の文化がしっかりと引き継がれている
	行政の役割	イ 岸和田の歴史や文化を保存・活用する

★現状と課題

岸和田城庭園(八陣の庭)が、平成26年10月に国名勝に指定されたが、指定されることがゴールではなく、名勝の有する価値を後世へ継承していかなければならない。
作庭からは60年以上が経過しており、劣化等により価値が損なわれることのないように、名勝の価値を明確にし、その保存と活用について、基本的な方向性を示す必要があり、計画策定に至ったものである。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
文化財保護事業(主要) (岸和田城図作成、測量、委員報酬等)			2,827						
文化財保護事業(主要) (岸和田城植生調査、計画冊子製本費、委員報酬等)				2,054					
文化財保護事業(主要) (景石状況調査、修復委員会委員報酬等)					2,092				
財源内訳	国費		1,413	1,027	1,046				
	府費								
	起債								
	一般財源		1,414	1,027	1,046				
	その他								
事業費		計			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
		2,092			2,092	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無							

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
						H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。